運用開始までの流れと導入支援サービス

WD導入対象設備の決定

設備稼働データを収集する対象設備を決めます。設備台数が多い場合は導入エリアの優先順位を検討ください。

まずは受信機1台のエリアで5～10台程度の設備を選定し、導入手順の習得や収集した設備稼働ログデータの評価などスモールスタートを推奨します。

設備稼働ログデータの活用方法の決定

稼働状態の現状把握、稼働分析、日報の自動化など導入目的の検討

WD連携パートナー様のパッケージソフトを活用する方法とお客様にてアプリケーションを自社開発する方法があります。

電波環境調査

50ページのスタートアップキット無償付帯の電波環境調査サービスや
受信機増設時の追加エリアの調査もサポートします。（個別見積）

対象設備の信号灯調査

WD導入ガイドラインの設備チェックシートをご活用ください。

機器設定内容のリスト化

WD導入ガイドラインのキッテングシートをご活用ください。

WDの初期設定

キッテングシートを作成頂ければ、工場で初期設定して出荷する
キッテングサービス（個別見積）もご活用ください。

設置工事

送信機用　電源配線方法はWD導入ガイドラインを参照ください。

テスト運用

障害発生時の現地調査もサポートします（個別見積）

運用開始

以上の導入ステップを詳しく取りまとめた「WD導入ガイドライン」は弊社営業へご依頼ください。

商品の最新情報は パトライト 検索 http://www.patlite.co.jp